

令和4年7月27日
教育委員会事務局

新型コロナウイルス感染症に係る教育委員会事務局の対応について

新型コロナウイルス感染症に係る教育委員会事務局の対応等について、下記のとおり報告する。

記

1. 区立小中学校【終業式:7月20日(水)、夏季休業日:7月21日(木)~8月31日(水)】
 - (1) 終業式までの間については、引き続き、通常登校による授業を基本とし、宿泊行事や各種行事等も含め、感染防止対策を徹底した上で創意工夫した教育活動を実施した。また、オンラインによる授業参加などICTを活用した児童・生徒の実態等に応じた支援を継続するとともに、夏季における児童・生徒のマスク着用に関しては、引き続き、国が示した「マスク着用が不要な場面」などを十分踏まえ、熱中症対策を優先し対応した。
 - (2) 小学校6年生児童を対象とした2泊3日の日光林間学園については、感染防止策を徹底した上で、7月21日から8月11日まで実施している。
 - (3) 各小中学校における児童・生徒のマスク着用の現状を把握するため、全校を対象に調査を行った。調査結果は別紙のとおり。
2. 区立幼稚園【終業式:7月19日(火)、夏季休業日:7月20日(水)~8月31日(水)】
 - (1) 終業式までの間については、引き続き、感染防止対策を徹底した上で、通常どおり運営した。また、夏季における就学前児のマスクの取り扱いに関しては、引き続き、国が示した「マスク着用を一律には求めない」ことを基本とし、熱中症対策を優先し対応した。
3. 新BOP
学童クラブ、BOPとも引き続き、感染防止対策を徹底した上で運営する。
4. 学校施設開放
引き続き、感染防止対策を徹底した上で、通常どおり施設を開放する。
5. 図書館・図書室・図書館カウンター
引き続き、感染防止対策を徹底した上で、通常どおり開館する。

6. 区立小・中学校での感染発生状況（直近3か月の推移）

	区立小学校		区立中学校		合 計	
	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数
5月	538人	61校	119人	25校	657人	86校
6月	358人	52校	72人	21校	430人	73校
7月25日時点	1,922人	60校	591人	29校	2,513人	89校

（注）人数は児童・生徒及び教職員等の陽性者数。学校数は陽性者が発生した学校の実数。

7. 区立小・中学校での学級閉鎖状況（直近3か月の推移）

	区立小学校		区立中学校		合 計	
	学校数	学級数	学校数	学級数	学校数	学級数
5月	11校	17学級	1校	4学級	12校	21学級
6月	12校	15学級	2校	2学級	14校	17学級
7月20日時点	39校	100学級	13校	23学級	52校	123学級

（注）学校数は実数。学級数は延数。いずれも学級閉鎖を決定した日をもとに集計した数。

【学級閉鎖基準】

■令和4年4月6日から当面の間

原則として、陽性が判明し欠席している（欠席予定の）児童・生徒が4名以上いる場合。

閉鎖期間：翌日から3日間

マスク着用に関する状況調査（調査期間：6/22～6/27）

■調査対象：区立小学校（61校）・区立中学校（29校＋夜間学級）

1. 熱中症対策が必要な場面におけるマスク着用の指導内容

指導しているが、マスクを外したくない本人の意思も配慮	86.8%
原則、マスクを外す指導を徹底	11.0%
その他	2.2%

2. 「体育」の授業において、マスクを外すよう指導した際の児童・生徒の様子

マスクの着用が大半	35.2%
マスクの着用が少ない	64.8%

3. 「屋外での会話をほとんどしない教育活動」において、マスクを外すよう指導した際の児童・生徒の様子

マスクの着用が大半	62.7%
マスクの着用が少ない	37.3%

4. 「休み時間での運動遊び」において、マスクを外すよう指導した際の児童・生徒の様子

マスクの着用が大半	51.8%
マスクの着用が少ない	48.2%

5. 「登下校」において、マスクを外すよう指導した際の児童・生徒の様子

マスクの着用が大半	89.2%
マスクの着用が少ない	10.8%

6. 「運動部活動」において、マスクを外すよう指導した際の児童・生徒の様子

マスクの着用が大半	40.0%
マスクの着用が少ない	60.0%

7. マスクを外さない児童・生徒がいる場合の主な理由（複数回答）

家族の意向	30.7%
本人の意向	76.9%
不明	7.6%

8. マスクを外す指導の工夫例

- ・こまめな声かけを実施するとともに、校内でマスクを外して良い場面を紹介したイラストを作り、ロイロノート等で周知した。
- ・家庭の協力を得られるよう、熱中症予防およびマスク着用について、通知を配布した。
- ・厚生労働省の通知に基づいた本校のマニュアルを作成し、児童への対応について全教員に周知し、学校として共通理解を図った。
- ・マスクに関する指導の質問や意見については、学年だよりや学校だよりを通して、丁寧に回答している。
- ・保健委員会より熱中症予防の講話や寸劇を実施した。

9. マスクを外す指導について課題や問題点

- ・マスクを外すことを強制はできず、マスクを外させたくない家庭や本人の意向も尊重する必要がある。
- ・マスクを外した場合、近距離での会話をしないことの徹底が難しい。
- ・マスクの着用が習慣化されている。
- ・教員が外すことに戸惑いがあり、児童が外しにくいのではないか。
- ・教員が繰り返し指導をしても、マスクを外すことを嫌がる生徒がいる。
- ・学校で指導しているにも関わらず、保護者からもっと指導するように求められる。
- ・感染すると濃厚接触者が増えたり、部活動の大会辞退などにつながったり、周りへの影響が大きすぎるので、マスクを外さない方がいいという意識がある。